



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report

会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ

2024-25 2024年10月27日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条

行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(10月27日)

地区大会本会議

次回のプログラム(10月30日)

鶴田秀樹会員
「スターリンク(Starlink)とは何？」

第1314回 2024年10月9日 例会記録

点 鐘 小島会長

ロータリーソング「我等の生業」

ロータリアンの行動規範唱和

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (10/9)	26 3	19 0	1	3 3	86.96
メイク	小島				

食事時間



魚と白ネギのキッシュロレーヌとサラダ
オーロラソース

キノコ入りペイザンヌスープ

玉葱塩麩でマリネした豚フィレ肉の低温ロティ
シャルキュティエールソース レンコンソテーと共に
バケット
コーヒー

副会長ひと言



皆さん、こんにちは！

今日も小島会長さんがお休みなので、2回目の代理ということでさせていただきます。

この代理を務めたら、会長を免除いただけるとありがたいなと思いますがいかがでしょう。

今まで、会長さんのお話をお聞きして、「すごいなって」ずっと思っていました。いつも例会で話される話題が豊富なので感心していました。色々なことに興味を持って生活しておられるんだなと思って聞いていました。

私のようにぼやっと過ごしていると話題に困ってしまいます。先日、竹光さんから「次の例会も小島会長がお休みなので代理をと言われて、え～て言ってしまいました。」「難しかったらいいですよ」とも言ってくださいました。私は出席で予定していたので問題はなかったのですが、何を話すか話題に困って、「え～」と言っ

てしまいました。なんとかやりますということ
で引き受けしましたが、やっぱりここに立つの
は、ちょっと負担です。人前に立つのは非常に
苦手なタイプなので、本当に困ってしまいます。
その原因は、私が小さい頃から父に「人前に立
つときはシャキッとせよ」と言われて育ったの
でプレッシャーになっているのだと思います。

なかなかシャキッと出来ないですし、上手い
話もできないので、本当に困っています。引き
受けた以上はなんとか勤めなきゃいけないので
今日もよろしくお願いします。

そこで、何を話そうかと悩んだのですが、こ
の4月から地域の区長を順番で引き受けてやっ
ています。地域の少子高齢化が急激に進んでいま
す。もう少子じゃないです。子供がいない状態
です。無子高齢化です。伝統文化の継承とか、
施設の維持管理とか、道路の草刈りも含めて非
常に難しくなっています。10年後はどうなるん
だろうという心配が強くあります。もう今と同
じことは地域ではできないと思うので、継承で
きる部分はしっかり継承する、できないことは
やめていくという形になるのではと思います。

昨日、法人で協議しましたが、社会福祉法人
が地域貢献をするようにということが叫ばれて
います。平成23年に東北で大震災が発生した時
に、キャノングローバル戦略研究所の松山幸弘
さんという方が、社会福祉法人は内部留保がす
ごく多い。お金を貯め込んでいるので、そのお
金を地域に還元すべきであると言われました。
震災の復興財源は社会福祉法人から取ればいい
と提唱されたのです。それがきっかけで平成29
年に社会福祉法人の充実残高以上のお金は地域
などに計画的に還元することが定められました。
ですから、社会福祉法人は儲けすぎではダメな
んです。儲けすぎると計画的にそれを吐き出さ
なくてはなりません。こんな制度ですから、「本
当にやる気が起きないです。」

私どもの法人も社会福祉充実残高を超えそう
なので、何ができるかを考えています。地域に
も多くの課題があります。スーパーがないので
買い物ができない、買い物難民問題、それから
公共交通機関がない。移動手段がない。ディマ
ンド交通はありますが、限られたところしか行
けないので使い難いなどです。では、うちがディ
マンド交通のようなことが出来るかというとな
難しいです。うちは入所施設があるので給食を作
っています。総菜なんかを作って、地域の方に安
く販売すれば喜ばれるのではと考えているとこ

ろです。

そういうことで、地域を維持するために社会
福祉法人として頑張っていければと思っていま
す。

つまらない話ですが以上で終わります。

今日は鶴田幸彦さんの卓話となっています。

「消滅可能性都市からの脱却Part1～みはら内
港再生整備と離島振興～」というテーマでお話
を伺います。よろしくお願いいたします。

幹事報告



【本日の配布物】

- ・10.11.12月分 会費のお願い文
- ・理事会報告

【回覧】

- ・今後の例会 出欠表
- ・尾道・尾道東・因島RCによる 市民公開講
座へのご案内
- ・日本国際ボランティアセンターよりお礼状



公益社団法人
日本国際ボランティアセンター
〒110-8605 東京都台東区上野5-22-1 東鈴ビル4F
TEL: 03-3834-2388 FAX: 03-3835-0519
E-mail: mono@ngo-jvc.net Web: https://ngo-jvc.info/thanks-mono

御礼状
2024年10月2日

広島空港ロータリークラブ 御中

このたびは物品寄付を通じてJVCの活動をご支援いただき、まことにありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた物品は、専門業者やコレクターさんの買取などにより換金し、JVCの活動資金とな
って、厳しい状況に置かれている世界の人々のための活動に役立てられます。このような物品を通じての支援
は近年1,000万円/年を超えており、人々の暮らしを支える大きな力となっています。

<買い取り金額の目安>

- 使用済み切手 ...10kgごとに約16,000円
- 外国硬貨 ...20kgごとに約35,000円

◆パレスチナ・ガザ緊急支援を続けています



2023年10月以降、空爆や地上侵襲の激しさが増すガ
ザ地区で、JVCは現地医療団体やNGOを通じて、子
どもたちのための粉ミルク支援や、現金(モバイルマネー)
給付支援を進めています。また、2歳以下の子どもの健
診や栄養失調予防の高カロリービスケットの配布、母親
へのカウンセリングの活動もスタートしています。

例えば使用済み切手は約1kgでおおよそ1,600円に
換金されますが、この金額は、乳児の1週間分の粉ミ
ルクを支援できる額に相当します。

最後になりましたが、昨今の郵便料金値上げのため様々な検閲をおこなった結果、2024年
10月1日以降は、今回送付しているお礼状(受領書)の送付を希望者のみとさせていただきます。
また、できる限りメールへと切り替えを進めていく予定です。今後も送付をご希望の方は、左
記QRコードより、メールアドレスなどの情報をご登録ください。郵送をご希望の方は郵送も
選択可能です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

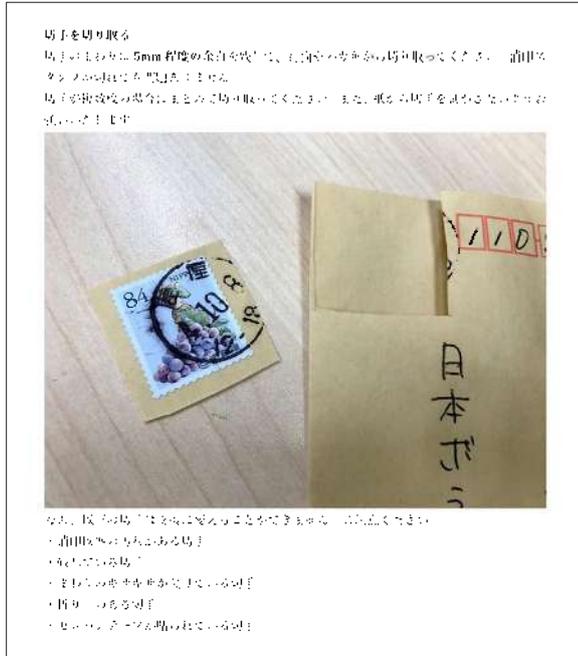


特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (JVC)
物品支援係一岡
〒110-8605 東京都台東区上野5-22-1 東鈴ビル4F
TEL: 03-3834-2388/FAX: 03-3835-0519
MAIL: mono@ngo-jvc.net WEB: https://ngo-jvc.info/thanks-mono

テーマ

「消滅可能性都市からの脱却Part1
～みはら内港再生整備と離島振興～」

鶴田幸彦会員



・能登半島豪雨災害に対する支援金について

【確認事項】

- ・ガバナー事務所より10月3日 能登半島豪雨災害に対する支援金についてメールが届きました。10月25日曜日となっています。寄付をした方が良いと思われる方は拍手をお願いします。それでは、クラブよりお一人1,000円合計26,000円をスマイルより送金させていただきます。

報 告 事 項



奉仕プロジェクト委員会 楠部社会奉仕リーダー

11月17日(日)三原臨空商工まつりにて、チャリティーバザーを出店いたします。是非皆様のお宅で眠っている品物がございましたらご提供をお願いします。

10月30日、11月6日の通常例会日に集めさせていただきます。よろしくをお願いします。

まずは旬な話題ですが、今日、午後から開かれる国会で衆議院が解散されます。内閣発足から僅か8日後の解散、10月15日告示、27日の投開票はいずれも戦後最短です。日本はどこに向かっていくのでしょうか…裏金問題もうやむやにはできませんが、破壊的、破滅的、自国優先主義を主張する世界の現状、そしてインフレが進む中で、もっと議論を戦わせて日本の立ち位置を考えるポジティブな政策を進めるべき時ではないかと思います。

身近な話題として、皆さんは、社内における従業員エンゲージメント(従業員が会社に対しての愛着や貢献の意志をより深めること)について考えられたことがありますでしょうか。従業員のエンゲージメントが向上すると、会社の利益率や生産性、顧客満足度が上がってくる一方、下がれば必ず欠陥品や事故、欠勤が増え、会社にとってはマイナスの状況となるでしょう。調査によると、「直属の上司に対する満足感」、「経営幹部への信頼」、「組織に対する誇り」、これらが従業員のエンゲージメントを高める上位のポイントになっているようですが…近頃、こんな2つのことを考えると眠れなくなってきます。

さて、本日は、我がクラブの所在である三原市の課題、話題について考える時間とさせて頂きたいと思います。

令和6年9月末現在の三原市の人口は約87,000、1年間で約1,000人減少しました。三原市予測の最悪ケースを辿っており、このペースでいくと2050年には人口61,963人となるパターンです。昨年度1年間の出生数は400人をついに割り、40人学級と仮定すると10クラスしかできなくなり、現在の三

原市内の小学校20校も過大になってくるような状況です。

日本創成会議は、日本生産性本部が2011年5月に発足した民間の会議体(東日本大震災からの復興を東北地方創成とし、それを日本創成の契機にしたいとして発足)ですが、日本のエネルギー問題や人口問題等について、政策提言を行っています。

この会議体は、「20～39歳の若年女性人口が2020～50までの30年間で50%以上減少する自治体を「消滅可能性都市」と定義づけています。今年4月の報告によると、広島県内では、竹原市、府中市、安芸高田市、江田島市、安芸大田町、神石高原町の6自治体が挙げられています。三原市は「消滅可能性都市」には該当していません。しかし、三原市の現在の特殊出生率は1.61(15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当する)、出生率1.4が続くとすると、概ね30～40年後には若年女性が現在の5割に減少するといわれています。

地方の人口減少の要因は、20～39歳の若年女性(再生産力)の減少と地方から大都市圏(特に東京圏)への若者の流出の2点です。特殊出生率の数字から考えると、出生率1.4が続くと30～40年後に若年女性は現在の5割に減少し、人口を維持するためには、直ちに2.8～2.9の出生率が必要であるとの推定がされています。このままですと、三原市も「消滅可能性都市」となるやもしれません。

人口減少は、大都市圏を除いてどの地方のまちも喫緊の課題ではあると思いますが、地方創生のひとつの手段として「交流人口(その地域を訪れる人々のこと)、関係人口(移住した定住人口でもなく観光に来た交流人口でもない地域と多様に関わる人々)」を増やすことが考えられます。

そういった観点から、これから三原市が広島県と連携して進める「内港整備」は都市開発を考える上で重要な意味をもつかもしれません。佐木島の「離島振興」と合わせ、交流人口を増やすことができる要素が多分にあると思います。広島空港があり、新幹線が止まり、三原駅から徒歩3分という、他の街にはない交通の強みを活かしたまちづくりの可能性に私たちはもっと気づくべきです。

三原市中心部では、西国街道の整備が進んでいます。電線類の地中化、古民家の活用、なかでも旧山脇邸には国の補助金も入り、リノベーションして物販、コワーキングスペースとして活用され

ています。

港湾再開発事業は、公募型プロポーザルにて92社がエントリーし、9月30日最終設計コンペで「オクトパス設計共同体」が選出されました。「三原の歴史深い街と、セトウチを感じる海が相互に浸透する『街にも海にも開かれた<編む港>』を提案します。海の街に快適な環境を生むランドスケープデザインと、創造的な使い方を生むコミュニティデザインを重ね合わせ、すべての人に開かれた新たな出会いを生む港です。」というコンセプトです。

今後令和8年1月には設計完了し、令和9年度末完成予定です。三原市民として、ハードだけではなく、ソフト部分でも、今後厳しい意見を言っていきたいと思っています。

その三原港から高速艇で13分の「鷺」。駅から16分の離島など日本全国ないはずです。この佐木島に富裕層向けの別荘&ホテル「NOT A HOTEL」が令和7年完成に向け、現在建設中です。前澤氏とZOZOの経営に携わっていた浜渦氏が経営する会社が販売するこのホテルは、瀬戸内の中でも佐木島の魅力に引き込まれて建設が決定したものです。世界的建築課であるビャルケ・インゲルス氏が設計を手掛けます。「温暖な気候と幻想的な風景で知られる瀬戸内海。そこに浮かぶ島々の数は大小合わせて3000を超えと言われており、そのうちの一つ、広島県三原市の離島・佐木島に『NOT A HOTEL SETOUCHI』は誕生します。伝統的な日本の平屋建築から着想を得た建築構成をベースに、地形や既存道路などのインフラと融合するよう90°、180°、270°、360°と平面プランを曲げることで、敷地の景観を生かしながらプライベートな空間を生む4つのタイポロジーを創出しています。」

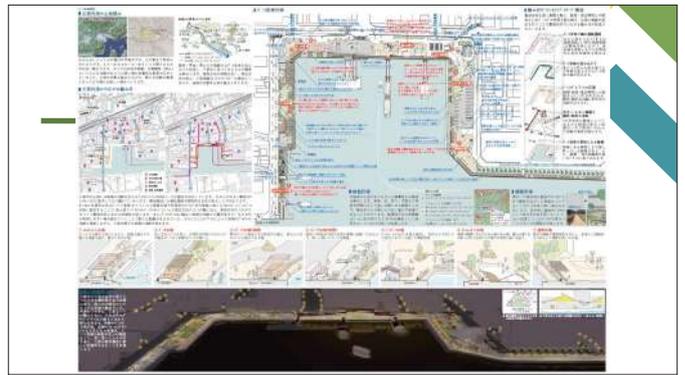
最後に、私たちはロータリアンである前に愛着を持ったまちに住む人間として、次世代を担う子どもたちと私たちの経済活動のために、そのまちのたくさんの方に関心を持ち、たくさんの方と触れ合い、将来のまちのあるべき姿を見据えて追い続けなければなりません。三原の経済界や広島経済同友会三原支部、三原観光協会は、三原市行政と連携して情報交換、意見交換ができる場「未来の会」をもつことができるような関係になりました。多くの団体が連携し、協働し、そして勇気をもって私たちが正しいと思ったことを信念をもってやりぬく、そんなまちにできたらいいなあと思います。私も「媚びず、ブレず、驕らず」正義にかなうことを実行し続けていくつもりです。

消滅可能性都市からの脱却 Part1

～みはら内港再生整備と離島振興～

本題に入る前に（近頃考え始めたら寝られないこと）

組織マネジメント・・・エンゲージメントの向上
まつり(政)ごととおさめ(治)ることがない政治・・・自民党二大派閥




【参考情報】
三原市の人口（R6.9.30）
87,173人（2023出生数387人）
（国みにR5.9.30は88,300人）
三原市予測R32.2050年は61,963人

20～39歳の若年女性人口が2020～50までの30年間で50%以上減少する自治体を「消滅可能性都市」と定義（人口戦略会議）

（日本創成会議）
現在の日本全国市町村数 1,729
2040年には、896の市町村が消滅可能性都市に該当
うち、523市町村が人口1万人未満で消滅可能性が高い

三原市全体に 新たな動きが！

市中心部では

- 令和9年度までに三原内港の再生計画が進行！
（現港湾ビル → 低層階の建物 西物揚場 → イベント機能など）
- 本町 旧山脇邸を再リノベーションして物販・ワークスペースに







離島では

- 佐木島に富裕層向け別荘/ホテル（NOT A HOTEL）が令和7年に完成
- 佐木島でプロロードレースが令和5年度から開催
- 小佐木島では風の子学園関連の構造物が撤去され、宿泊施設やサウナ、飲食施設などが整備されています







本郷・久井・大和では

- 本郷産業団地にデータセンターが進出（GOOGLE系との噂）→本郷産業団地は完売
- 広島空港周辺には
 - 複合商業施設「空の駅 オーチャード」OPEN。三原・世羅等の特産品の販売やレストラン、BBQサイトなど
 - 広島県動物愛護センター、野村乳業、奈良運送などが立地
- 大和町にある俵阪井養魚場が11月23～24日泊泊にて錦鯉の品評会「WORLD NISHIKIGOI SHOW」を開催